

---

# 雨の日のケモノ

並盛りライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

雨の日のケモノ

### 【Nコード】

N6370A

### 【作者名】

並盛りライス

### 【あらすじ】

雨の日に人気のない広場で広げられるキャットファイト。通りかかった男は勝負を受けるが…

雨が露骨に嫌な顔をして地面を打った。

ただ、人間にできることは濡れることか、走ることだけだった。

傘を持つ者は誰一人いないくらい晴れた空から、雨が降り始めた。

はじめ小降りだった雨は本降りになり、一時騒然としていた広場からは人が消え失せて静かになった。

ただ、雨足だけが強弱のテンポを変えながらリズムを刻んだ。

やがて一人の男が、傘もささずに走ってきた。それは何かを恐れているように見えたし、あるいは脅えているように見えた。

その男を囲むように、黒い傘をさしたどこか幼く見える若者達が集まってきた。

あらかじめ打ち合わせたかのように、そして素早く男を取り囲んでいく。

「なんだお前は」

という意味のことを男が言うと若者の中から一人、傘をさしていない少年が進み出た。

「おっさんは、名誉ある五人目のカモに選ばれたんだ。」

男は、中肉中背で30代の前半くらいだ。10代や20代に比べると体力は劣ってはいるが、まだまだ体力には自信がある程度だ。

かたや、少年はこの集団の代表というにはあまりにもスレンダーで小柄な体格をしていた。

「とはいっても、こんな大勢でよってたかって殴るのはフェアじゃない。」

すでに数の上であつとうしという少年達がフェアという言葉を使うことは少し滑稽だ。

「一対一でこの俺と一試合してもらう。もちろん辞退しても良いがキャンセル料は七万円。手持ちになればそのスーツや鞆を貰う。」

男は、ただの親父狩りとは様子が違うことに気付く。

「勝てば、一人300円ずつの賞金つき。負ければ五万円。俺は武器はもっていないし、おっさんは鞆なり、なんなり好きにしてくれ。」

「何を使ってもいいんだな……」

状況が理解できてきた男は、少年の体を良く観察しはじめた。

タンクトップにチノパンというラフな格好を見ても、たぶん凶器のようなものは見当たらない。

「おつ、受ける気？ いいねえ、五人の内三人は七万払って逃げたけどねえ。」

雨足が少し緩くなり、少年の声が響いた。

男はこの勝負を受ける気になっていた。何よりも、元柔道部で現在も月に一度ジムに通っている実力が自信を生んだ。

少年は心底、楽しいという顔をしていた。

純粹に力だけで反抗したいのだろうと男は思った。

「分かった。この勝負を受ける。」

短く言うと、ジャケットを脱いで腕を捲った。

「いいねえ。だけど手加減はしないよ。」

周りの少年達が、

「やれ、やっちまえ」

とヤジを飛ばす。すでに試合は始まっているのだろう。

男は、先手必勝とばかりに少年に跳びかかった。

少年は、後退してそれを避けた。

しかし、少年は男の方をじっと見るだけで反撃をしてこない。

男は体勢を立て直すと少年に向かおうとした。だが、男は力なく前のめりに倒れこんだ。

「な……なぜだ……。」

「俺は、ナイフなんか持つちゃいないぜ。∴オ・レ・は・な。」

そしてみんなで、男の背中に突き刺さった数本のナイフを笑った。

黒い傘はやがて男を覆い隠し。むさぼるように男から金品を奪っていた。

雨足が強くなった。北風と太陽ではコートを脱がした方が勝ちであった。

広場にはただ赤い血が数滴落ちていただけだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6370a/>

---

雨の日のケモノ

2011年1月27日14時54分発行